



スイス再保険会社 2008 年通期の決算 8 億 6400 万スイス・フランの純損失を発表 好調な保険引受実績は投資損失によって相殺 資産ポートフォリオのさらなるリスク削減と資本増強

Contact:

Media Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 7171

Corporate Communications, London
Telephone +44 20 7933 3445

Corporate Communications, Asia
Telephone +852 2582 3660

Corporate Communications, New York
Telephone +1 212 317 5663

Investor Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 4444

Swiss Reinsurance Company Ltd
Mythenquai 50/60
P.O. Box
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999
www.swissre.com

チューリッヒ、2009 年 2 月 19 日 – スイス再保険会社 (以下、スイス・リー) は、投資損失の影響により、2008 年通期の純損失が 8 億 6400 万スイス・フラン、株主資本利益率は -3.4% となったことを発表しました。金融市場の混乱と自然災害による多大な損害に直面しつつも、中心となる再保険の引受実績は好調でした。スイス・リーは、投資ポートフォリオのさらなるリスク削減と資本増強に幅広い措置を講じています。

スイス・リーの最高経営責任者、シュテファン・リッペは次のように述べています。

「業績については誠に遺憾に感じております。この厳しい環境の中で、損害保険と生命・医療保険事業は非常に堅調に推移しましたが、その業績が投資損失の影響を受ける結果となりました」

「当社は、これまでも投資ポートフォリオのリスク削減と、長期的な財務力維持の推進に幅広い措置を講じてきており、それが今後の企業成長に貢献していくものと信じております」

バランスシート強化のための再建および維持

スイス・リーの 2008 年通期決算は、2007 年の 42 億スイス・フランの純利益から、8 億 6400 万スイス・フランの純損失となりました。1 株あたり利益は、前年の 11.95 スイス・フランから -2.61 スイス・フランとなり、株主資本利益率は、前年の 13.5% から -3.4% となりました。

株主資本は、2007 年末の 319 億スイス・フランから 205 億スイス・フランへと減少しました。これは、主に通年の損失、投資資産の含み損、為替レートの変動によるものです。1 株あたり簿価も、2007 年末の 92 スイス・フランから、60.96 スイス・フランへと減少しました。

2009 年 2 月 5 日付の発表でもお知らせしました通り、スイス・リーは、事業機会を捉えるために資本増強措置を講じ、短期間に民間資本による解決策を確保することができました。株主による承認を前提として、スイス・リーはバークシャー・ハザウェイ社に対し、30 億スイ

ス・フランの転換型証券を発行します。これは、スイス・リーのビジネスの健全性を示すものです。また、スイス・リーは 1 億 8 千万株を上限とする株式発行による資本金の増額を株主に提案する予定です。但し、現時点ではこの権利を行使する予定はありません。

スイス・リーは組織をさらに簡素化し、世界規模のサービスを提供するために一段と効率性を向上させ、またコスト削減を迅速に行っています。

資本基盤を一層強化するため、取締役会は本年度の配当金を 0.10 スイス・フランに減額することを提案します。

主要事業の強固な収益力

スイス・リーの主要事業による収益力は引き続き堅調に推移しています。損害保険および生命・医療保険事業は、2008 年、営業利益 45 億スイス・フランを計上しました。

スイス・リーの損害保険事業は、2008 年通期のコンバインド・レシオ 97.9% (割引控除を除くと 96.1%) を達成し、4 年連続で好調な引受実績を計上しました。サイクルマネジメントおよびコンバインド・レシオの上昇により、営業利益は前年比 39% 減の 27 億スイス・フランとなりました。

生命・医療保険事業は、強固な引受業績を受け、クレーム・レシオ 85.5% を達成しました。含み損が主な要因となり、営業利益は、前年比 47% 減の 6 億 9700 万スイス・フランへと減少しました。

アセット・マネジメント部門は、厳しい市場状況の中で 2008 年、総投資収益率を 0.6% とし、好調な業績をもたらしました。純営業利益は、前年比 30% 減の 59 億スイス・フランを計上しました。

資産ポートフォリオのさらなるリスク削減を実施

スイス・リーは、売却とヘッジの組み合わせにより、投資ポートフォリオのリスク軽減を図っていきます。2008 年末現在、スイス・リーの投資ポートフォリオの 56% 以上は、現金、短期有価証券、金融保証再保険、政府保証証券によって構成されています。2008 年は社債ポートフォリオにおける大規模なヘッジ・プログラムにより 26 億スイス・フランの利益を得ました。アセット・マネジメントのポートフォリオに

組み込まれている証券化商品は、引き続き高い格付け評価を受けています。

スイス・リーですでに提供を中止している商品に関しては、現在レガシー部門が管理を行っています。これらの商品には、ストラクチャード・デフォルト・スワップ(SCDS)、ポートフォリオ・デフォルト・スワップ、財務保証再保険、旧トレーディング事業などが含まれます。2009年2月5日に発表した2008年の業績見込みでお知らせしたとおり、これら事業の通期の評価損として、SCDSの評価損失20億スイス・フランを含む約59億スイス・フランを計上しました。

今後の見通し

損害保険と生命・医療保険の両事業における、需要の増加と再保険の料率硬化の見通しが、スイス・リーの強固な収益力を下支えています。元受保険会社は、自らの資本基盤のき損のリスクを回避する傾向にあることから、再保険に対する需要は拡大してきました。

2009年1月の価格見直しの結果、外国為替レートに変動がないとの仮定で、料率は2%の伸びを示し、引受保険料は6%前後の伸びになりました。シュテファン・リップペは、「1月の更改が好調な結果であったことを受け、当社はお客様から確固たる信任を得たものと思っております」と述べています。

スイス・リーは、適切なサイクルマネジメントを行い、プロパティ&スペシャルティなど最も高い価格上昇を期待できるビジネスを増大する一方、賠償責任保険や自動車保険、傷害保険など料率が軟化する分野に関してはボリュームを減らしていきます。スイス・リーは、保険料の上昇傾向は今後も続き、その他の商品や市場にも拡大していくと予想しています。生命保険分野では、世界中の保険会社が重要な課題に直面していることから、スイス・リーは、アドミン・リー[®]またはその他の再保険ソリューションを通じて、保有ポートフォリオの移転による顧客のニーズが高まることを見込んでいます。

スイス・リーは、今後も強固な引受業務を低投資環境下でも成功を収めるための鍵と位置づけ、引き続き注力していきます。2009年、通常の自然災害の規模を想定した上で、スイス・リーはコンバインド・レシオ95%を目標としています。

スイス再保険会社について

スイス再保険会社(略称「スイス・リー」)は、世界をリードする多角的な再保険会社です。当社は世界25カ国以上で事業拠点を展開しています。1863年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にする金融商品を提供しています。伝統的な再保険商品と損害および生命・医療保険関連サービスは、包括的なリスク管理のための保険をベースにしたコーポレート・ファイナンス・ソリューションとその付加サービスによって補完されています。スイス・リーはスタンダー&プアーズから「A+」、ムーディーズから「Aa3」、A.M.Best から「A+」の格付けを取得しています。